

日本語教師【初任】(就労者)研修の教育課程編成の目安(案)

実施機関 : 日本語教育機関・団体, 企業等

想定単位時間数 : 40 単位時間 ※1 単位時間は 45 分以上とする。

教育方法 : 集中的に実施する集合研修のほか, 複数回に分けて行う場合なども想定される。具体的な教育方法については, 事例研究, 問題解決学習など, 主体的・協働的に学ぶ機会を取り入れることが求められる。

教育内容	単位時間数	科目名(例)
(1) 人の移動とダイバーシティ (2) 日本の外国人材受入れ施策 ・就労に関わる在留資格・精神衛生 (3) 日本と海外の雇用制度の違い ・労働や社会保障に関する制度 (5) 就労者の多様性 ・言語背景, 文化的背景 ・ニーズの多様性	4~8	1. 外国人材の受入れに関する現状と課題
(4) 就労者に対する日本語教育 ・就労のための日本語教育の多様性 ・就労に関わる日本語能力の要件 (7) キャリア支援と日本語教育 (6) 職場におけるコミュニケーション分析 ・社会文化的背景と言語・非言語行動	8~16	2. 就労者に対する日本語教育
(8) 就労者の異文化受容・適応 ・異文化間トランス (9) 学習動機と就労現場における学習者心理 ・職場におけるトラブル ・就労準備, 職場における学習者の成長と言語発達 (13) 職場コミュニケーションに関する言語間対照	4~8	3. 就労現場における異文化受容・適応
(10) コースデザイン演習 ・ニーズ分析の手法(対職場関係者, 对学习者) ・目標設定 ・職種別対象別日本語教育プログラム ・職種別対象別カリキュラムデザイン ・教材作成	12~24	4. 就労者に対する日本語教育のコースデザイン

<p>(11) 各種指導法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就労準備, 就職後の職場適応及び業務遂行のための日本語教育 ・ キャリア形成のための上級ビジネス日本語教育等の段階別指導方法) <p>(14) 就労のための日本語教育教材・教具のリソース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通信, e ラーニング, ICTツール(SNSなど) 	8~16	5. 就労者に対する日本語教育の指導法
<p>(12) 評価・報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 評価及びフィードバックの方法 (対職場関係者, 対学習者) ・ 分析的な振り返り ・ 経験の振り返りや議論等を通じた内省力の強化 (経験や他者を通して学ぶ力の育成) <p>(15) 異文化調整能力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家以外に対する学習効果や日本語教育の必要性の説明 	4~8	6. 就労者に対する日本語教育の評価
40単位時間		

※全科目の下限の時間数を合計すると 40 単位時間となる。時間数の幅を生かすことにより、各研修実施機関における特色ある教育課程を編成することが可能である。